

令和 5 年 度

農事功績表彰者名簿

令和 5 年 11 月 15 日

公益社団法人

大日本農会

目 次

	受章者数	頁
農事功勞者		
紫白綬有功章	2名	2
緑白綬有功章（国内）	11名	4
北海道・東北地域	11名	7
関東地域	11名	7
北陸地域	4名	10
東海地域	3名	11
近畿地域	6名	12
中国四国地域	6名	14
九州・沖縄地域	9名	16
緑白綬有功章（国外）	1名	19
緑白綬有功章 小計	51名	
計	53名	
農業改良普及功勞者		
緑白綬有功章（国内）	4名	20
農業技術開発功勞者		
緑白綬有功章（国内）	1名	21
名誉賞状（グループ）（国内）	1団体	21
本会功勞者		
紅白綬有功章（国内）	4名	22
令和5年度農事功績表彰者		
（内訳）	63名	
紫白綬有功章	2名	
緑白綬有功章	56名	
紅白綬有功章	4名	
名誉賞状（グループ）	1団体	

農 事 功 労 者

紫白綬有功章（国内） 2名

氏 名	住 所	経営部門	表 彰 事 由
いま 今 こう 一 耕 一 (73歳) 緑白綬有功章 平成25年度受章	栃木県 那須町	酪農・チーズ 製造経営 (法人)	<p>1 地域の酪農家と連携し、共同牛舎建設や共同育成牧場開設等に取り組み、規模拡大による経営安定化を図ることで地域の酪農振興に寄与。また、受精卵移植による和牛子牛生産や哺乳ロボット等新技術を先駆けて積極的に導入する等先端技術の普及促進に貢献。</p> <p>緑白綬有功章受章後も、個体管理システムや自動餌寄せロボット等のスマート農業技術の導入等により給餌作業、個体管理の省力化や繁殖成績、乳量等生産性向上を進める。また、自走式ハーベスタの導入による良質粗飼料の増産に取り組み、飼料自給率の向上を図ることで、輸入飼料に頼らない収益性の高い酪農経営を実現。令和2年度に県内でいち早く農場HACCP認証を取得し、農場のリスク管理改善に取り組み、高いレベルでの衛生管理を実践。また、その生乳を原料としたチーズは、国内外のコンテストで高い評価。</p> <p>これらの取組は、県内外から多くの視察者が訪れる等酪農経営のモデルとなっている。</p> <p>2 平成26年度に町農業委員会会長に就任し、担い手への農地の集積・集約や遊休農地の発生防止・解消を推進してきた。また、県で18年ぶりとなる酪農の新規参入者への農地や牛舎の確保等を支援し、就農へと導いた。これを機に令和元年に那須町酪農振興協議会（酪農の新規就農者研修受入組織）を設立し初代会長に就任。酪農教育ファーム制度を活用し、小学生の農場見学や農業高校生の農場実習等を受け入れるとともに、日本農業法人協会の農業インターシップ事業で年間約20名受け入れ、後継者育成や食と農の理解促進に努めている。</p> <p>平成30年度から県農業会議副会長として、県内全域の農地集積の推進や担い手の確保に尽力。また、県畜産協会理事として、鳥インフルエンザや豚熱等の家畜衛生対策や家畜感染症対策の取組等についても提言。</p> <p>令和元年度から県農政審議会委員を務め、農業振興計画の策定において耕畜連携の必要性や担い手確保の重要性等を提言し、本県農業の将来構想づくりに貢献。</p>

氏名	住所	経営部門	表彰事由
おざわ ひろし 小澤 博 (73歳) 緑白綬有功章 平成25年度受章	山梨県 甲府市	モモ・ブドウ作経営	<p>1 養蚕からモモを主体とする果樹に経営転換。自然循環型農業をめざす農家の集まりである「やまなし自然塾」に参画し、化学合成農薬の低減や有機質を主体とした施肥等を導入していった。緑白綬有功章受章以降も環境保全型農業への取組を進め、現在では、化学合成農薬を慣行防除の約 1/2 の回数に低減する防除体系を実現。この体系は「(公社) 山梨県果樹園芸会」等を通じ減農薬を目指す果樹農家の先進事例となっている。</p> <p>県ではモモ、ブドウの品種はオリジナル品種を中心に不断に見直し・導入しており、例えばモモ「夢みずき」ではいち早く導入し栽培特性を見極め栽培上の課題を克服した上で周囲に導入を働きかけたことから、急速に栽培面積が拡大し、県の基幹的な品種となっている。</p> <p>モモの「枯死症」は全国で問題になっており、氏はこの解決策として太い枝をできるだけ残す独自の樹形を考案、この樹形は早期多収効果も期待でき、多くの生産者がこの樹形を導入し、モモの安定生産が図られた。</p> <p>2 (公社) 山梨県果樹園芸会は、栽培技術向上と果樹農業振興を目的に県内果樹農家3,900名余で構成される団体であり、氏は平成22年から30年まで会長、副会長としてT P P対策を進めるとともに平成26年豪雪被害の際には、会誌に復旧対策等の特集を組み会員への周知を図る等率先して取り組んだ。また、平成29年には山梨県において全国ブドウ研究大会を開催し日本各地のブドウ産地の発展に寄与した。</p> <p>園芸会においては定期機関誌を発刊するとともにブドウとモモの栽培技術誌を全面改訂した。これら栽培技術誌は全国のブドウ、モモ生産者に広く読まれている。</p> <p>全国果樹研究連合会モモ部会長として、全国大会を開催し、モモ栽培の課題解決を図るとともに全国問題であったモモ枯死症の原因究明に尽力。</p> <p>また、研修生受け入れ等新規就農者の育成と定着にも貢献。</p>

緑白綬有功章（国内） 51名

（北海道・東北地域 11名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
さいとう てつお 齊藤 哲夫 (69歳)	北海道 別海町	酪農経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 新酪農村建設事業で入植し、安定経営を確立。嗜好性の高い草による自給飼料給与体系と産乳能力を発揮する牛作りに取り組む経営を展開。ICT技術を導入した牛舎で省力化を図った。 2 J A役員等を歴任し、地域酪農振興に尽力。環境整備や作業動線を考えた労働環境作り等地域の優良事例となる。広く研修生を受け入れ、酪農理解者、担い手作りに貢献。
よこい こういち 横井 弘一 (68歳)	北海道 由仁町	稲作・畑作・ 花き・肉用牛 複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 野菜から花き栽培へ転換。品目増加や促成栽培技術により花き生産の経営を強化。肉牛導入による循環型農業を实践。法人設立を契機に農業受託、ファームレストラン等多角化。 2 花き生産部会設立や組織化を通じ地域の花き生産を先導。道花き生産連合会会長等を歴任。稲作研究会やバレイショ防疫でも活躍。研修受入や技術指導にも尽力し、担い手育成にも貢献。
さいとう やすひこ 斎藤 靖彦 (64歳)	青森県 弘前市	施設トマト・リ ンゴ作・農産 加工複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 独自に開発した安価なミニトマト水耕栽培システムと養液管理の研究で高品質多収生産を実現。生産規模を拡大し法人化。加工部門を立ち上げて多様な加工品を開発・製造・販売。 2 県農業経営士会会長や農業者が組織する研究会会長等で活躍。県内外からの視察のほか、研修生を受け入れ、新規就農者等を支援。農協や農業者と連携した加工品の開発・製造に貢献。
なかさと てるお 中里 照夫 (64歳)	岩手県 軽米町	ホップ・水稲 作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 就農時からホップ栽培に取り組み、近隣園地を集積して規模拡大し県北で最大の作付規模とする。品質向上に向け、排水対策や堆肥施用による土づくりの他、実需に応じた新品種を栽培。 2 岩手県北ホップ農業協同組合の組合長として、技術改良に取り組み、組合員への技術普及を推進。また、農事組合法人の副組合長として水稲の苗供給や作業受託に取り組む等地域に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
まつばら ひさみ 松原 久美 (73歳)	岩手県 雫石町	酪農・水稲・ 加工販売複合 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 酪農経営の省力化やコスト低減を進め、規模拡大。牧草や稲WC S生産等自家飼料の確保に努め、堆肥も供給。耕畜連携と循環型農業の経営を確立。乳製品の加工販売等にも取り組む。 久美氏はJAの酪農生産部会長として乳質改善事業に取り組むほか、牧野組合長として粗飼料生産基盤確立に貢献。たみえ氏は乳製品加工製造による観光との連携、雇用創出に貢献。
まつばら 松原 たみえ (71歳)			
あべ としろう 安部 俊郎 (66歳)	宮城県 東松島市	水稲・麦・大 豆作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 地区農地の多くを集積する大規模土地利用型法人。震災後、地域住民と協力して復旧・除塩し2か月後に営農再開。さらに農産加工等6次産業化、耕畜連携、スマート農業等への取組。 作業受託や先進技術導入事例の提示により地域農業維持に貢献するとともに、農業大学の研修受入・卒業生の積極的雇用等若手の育成に尽力。農研機構評価委員として研究に協力。
くどう おさむ 工藤 修 (72歳)	秋田県 大仙市	水稲・大豆・ 野菜作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 大規模法人を設立。農地集約、機械施設の共同利用等による低コスト化、特別栽培米生産によるブランド化を実現。スマート農業実証に取り組む、効率的な営農体制構築へ努力。 法人経営を通じて女性・高齢者の就業機会を確保するとともに、若者を新規採用し技術習得機会提供を通じて地域農業の担い手を育成。栽培暦を地域で共有し、ブランド化を推進。
しば た てる お 柴田 輝男 (72歳)	秋田県 由利本荘市	酪農経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 牛群検定事業に取り組み、泌乳能力の高い牛群を整備。遊休農地を活用した自給飼料生産等により、コストを低減。家族経営協定締結等によりモデル的酪農経営を実現。 輝男氏は、牛群検定事業の県内普及に貢献。誠子氏は、地域を超えた仲間づくりに取組。また、夫婦で子供たちの体験学習を行うとともに、イベントや直売等で地域農畜産物をPR。
しば た せい こ 柴田 誠子 (72歳)			

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
たか はし ぜん いち 高 橋 善 一 (71歳)	山形県 南陽市	水稲・果樹作 複合経営	1 県の推進するオウトウの結実確保対策に協力し地域への普及を推進。またオウトウの凍霜害対策として夜間給油が不要な暖房器具を開発、市販化され県内外で普及。 2 オウトウの防霜対策を確立し、地域の農業経営の安定に大きく寄与。指導農業士、市農業委員会会長、県農業会議理事として、農業振興、農地集積、遊休農地対策、新規参入促進に尽力。
なが さわ みつ よし 長 澤 光 芳 (69歳)	山形県 舟形町	施設マッシュ ルーム専作経 営 (法人)	1 マッシュルーム生産法人を設立し、殺虫剤や殺菌剤を使用しない培地を独自に開発。廃菌床は堆肥化し、地元の田畑に提供。現在国内シェア約20%を誇る大規模経営を実現。 2 マッシュルーム生産・加工により雇用創出に貢献。地域の未利用資源の馬糞料や麦稈等を培地原料とし、廃菌床は田畑に還元する等循環型農業を推進。工場は観光拠点としても活用。
しし ど かおる 宍 戸 薫 (69歳)	福島県 福島市	モモ・ナシ作 経営	1 モモ、ナシ栽培の作業労力分散を進め、新品種・技術導入により、高品質化と生産規模の拡大を実現。ナシのジョイント栽培技術を地域で先導的に導入。 2 地域で果樹主体経営への転換を先導し、産地形成や共販体制の確立に貢献。地域の遊休農地対策や環境保全に取り組むとともに、夫妻が協力して研修生受け入れ等担い手確保にも貢献。
しし ど よう こ 宍 戸 洋 子 (67歳)			

(関東地域 11名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
こざわ かずお 小澤 一男 (80歳)	茨城県 笠間市	クリ専作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 クリ専作の大規模経営を実現。顧客の要望に応え「焼き栗」を開始し、最適条件を探求して貯蔵・加工技術を確立。栽培では減農薬に努め、無くん蒸によるクリシギゾウムシ対策を確立。 2 生栗と焼き栗を全国販売し「笠間の栗」の知名度を向上。焼き栗を地域へ普及するとともに、研究機関等と協力し、クリの収穫機開発に貢献。
い か はた しげる 五十畑 茂 (75歳)	栃木県 小山市	養蚕・露地野菜作複合経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 蚕病対策を確立し蚕作を安定化するなど高品質で高収量な繭生産を実現。ゴボウ・ダイコン作との労力分散、養蚕残さを活用したたい肥投入により効率的複合経営を実現。 2 蚕作安定化体制を県下に構築する等、本県の養蚕業発展に貢献。また、養蚕継承の仲間づくりや学校教育活動等を通じた養蚕・本場結城紬の魅力発信等、地域農業農村の振興に寄与。
い か はた ひろこ 五十畑 啓子 (73歳)			
きょうの れいこ 興野 礼子 (67歳)	栃木県 那須烏山市	酪農経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 夫妻で経営規模を拡大、家族経営協定を早期に締結し、役割分担を明確化。高泌乳牛の自家増殖等により収益力を強化。哺乳ロボット等先端技術を導入して、スマート酪農を実現。 2 礼子氏は、女性農業者のトップリーダーとして、農村女性の経営参画、男女共同参画推進に貢献。一美氏は、実習生を長年に渡り受け入れる等地域の酪農人材の育成に貢献。
きょうの かずみ 興野 一美 (66歳)			
あきやま ゆきお 秋山 幸夫 (75歳)	群馬県 藤岡市	施設トマト専作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 先進的な選果場を導入して規模拡大を図り、地域のモデルとなる農業経営を実現。非農家を含む地域ぐるみの黄化葉巻病対策を先導。GAPの導入等により、産地のブランド化を推進。 2 施設栽培の優良モデルとして地域を牽引、農業経営士として研修生の受け入れ及び新規就農者の指導に貢献。土地改良区の営農委員長、農業委員等を歴任し、地域農業の発展に寄与。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
あらい けんいち 新井 健一 (66歳)	埼玉県 行田市	水稲専作経営 (法人)	1 水稲作で学校給食向け等の出荷先確保と、稲わら販売により安定した経営基盤を構築。法人では順子氏が、経理、販売、人員管理を担当。スマート農業にも取り組み、さらなる効率化。 2 稲わらの有効活用により地域内資源循環と畜産振興を推進。指導農業士として担い手確保・育成に尽力。スマート農業研究会を立ち上げ、地域で機器を導入。先進地域として注目される。
あらい じゅんこ 新井 順子 (66歳)			
あきば しずか 秋場 静 (64歳)	千葉県 いすみ市	ニホンナシ専 作経営	1 ナシの予備枝剪定技術確立、排水性改善や酪農家と連携した環境保全型農業による高品質生産を実現。大苗を活用したジョイント栽培、新品種試作や農福連携等で地域をけん引。 2 雨よけ栽培による早期出荷、大苗育苗施設の導入、新規参入者の受入態勢等を主導し、産地強化に寄与。県指導農業士会会長として、会員の相互研鑽、担い手育成にも貢献。
すずき としお 鈴木 俊雄 (74歳)	東京都 八王子市	多品目野菜経 営	1 環境保全型農業の技術と経営を確立するとともに、農地の規模拡大を行い、生産安定と所得の向上を実現。また、出荷先を複数にすることで、リスクの分散や確実な売り上げを確保。 2 消費者交流やメディアでの情報発信を積極的に行い、援農ボランティア団体の設立や運営を支援し、農業者と消費者の相互理解を構築。指導農業士として、農業後継者の育成に寄与。
ことう としみつ 五 嶋 敏 充 (74歳)	神奈川県 川崎市	ナシ・ブドウ 作経営	1 消費者ニーズを的確に捉え、ナシ、ブドウの新品種を地域でいち早く導入し、直売を中心とした都市農業の発展に寄与。省力栽培技術の導入により、安定した果樹経営を実現。 2 地域住民に配慮しつつ都市農業の発展に寄与。JA果樹部副支部長、県果樹組合連合会会長等の役職を務め、有望品種や新技術の導入等地域に留まらず、県全域の園芸振興に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
三浦 寿夫 みうら としお (82歳)	山梨県 富士河口湖町	施設トマト・ 露地野菜・水 稲作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 被覆資材活用により出荷の早期化と作期拡大を実現し、収益性を向上。トマト栽培で土づくりの徹底と除塩の組み合わせ等独創的な栽培技術により連作障害の回避と省力化を実現。 2 出荷組合設立に中心的な役割を果たし、地域野菜の生産振興やブランド化に大きく貢献するとともに、地産地消の取組を先導。新規就農希望者の受け入れ先となり、担い手育成に貢献。
小池 捷一 こいけ しょういち (84歳)	長野県 須坂市	ブドウ専作経 営	<ol style="list-style-type: none"> 1 巨峰の露地・ハウス栽培で地域のリーダーとして産地をけん引。JA部会長として、県育成品種を率先して導入し、技術確立に寄与。新品種中心の黒・緑・赤の種なしブドウ経営を実践。 2 加温ハウス栽培技術の地域全体の高位平準化に寄与。ナガノパープルの産地化を先導し、県下最大の産地を創出。「バラエティあふれるぶどうの総合供給産地」への構造改革の推進。
桑原 康 くわはら やすし (70歳)	静岡県 富士宮市	養豚経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 国内外の優秀血統を導入し、種豚改良に取組。日本初の豚人工授精センターを開設するなど地域畜産業に貢献。人工授精用精液の広域流通化のために保存剤を開発し、養豚業振興に功績。 2 全国に先駆け豚人工授精を実現し、モデル地区化を推進。日本養豚学会評議員、県養豚協会会長、JICA講師等リーダーとして活動するほか、広く研修生を受入れ、担い手育成に貢献。

(北陸地域 4名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
かねうち あたお 金内 興夫 (74歳)	新潟県 新潟市	水稲・切り花 ・にんにく複 合経営	1 水稲では先進的に機械化作業体系による省力化と規模拡大。県特別栽培認証米として直接販売を実践。チューリップ切り花栽培をいち早く導入し、現在も水耕栽培で生産。 2 水稲と切り花栽培の複合経営に先進的な役割を果たす。また、地域切り花部会の発足に貢献。指導農業士として研修生・新規就農者の指導等にも取り組む。農業関係団体役員を歴任。
たかはし かつみ 高橋 勝美 (68歳)	新潟県 十日町市	和牛繁殖肥育 一貫経営 (個人・法人)	1 肉用牛の繁殖経営から始め、肥育一貫経営へ。高い子牛育成技術、栄養最適化による1年1産化、肉質高品質化を実現。先進的な系統導入や受精卵移植等により和牛改良を推進。 2 研修生等の受け入れや新規就農者指導に尽力。和牛改良組合長、県肉用牛経営者会議会長等として和牛改良や経営安定化を推進。さらに農事組合法人を設立し棚田管理にも貢献。
おおつか ひさき 大塚 久樹 (78歳)	石川県 中能登町	酪農・肉用牛 肥育経営	1 乳用牛に受精卵を移植し、黒毛和種を生産肥育する乳肉複合経営を確立。和牛肥育では県内有数の成績を実現。県下初の乾田直播による稲WCS生産・規模拡大する等先進的経営を実現。 2 酪農組合長等として地域を牽引。研修生を積極的に受入れ、若手の育成に貢献。県内畜産農家初の家族経営協定を締結。自給粗飼料生産による水田活用、資源循環型農業の推進にも尽力。
ぶとう よしあき 武藤 吉明 (74歳)	福井県 越前町	水稲作・飼料 作・農産加工 販売複合経営 (個人・法人)	1 稲作経営を行うとともに畜産農家と連携し地域の粗飼料生産の基盤確立。餅加工により糯米生産を支援。集落営農組織を設け、担い手と地権者による集落営農体制を構築。 2 非農家も参加できる「田んぼアート」等のイベントによる賑わいを創出。鳥獣害被害に対し農家・非農家参加による活動の仕組みを築き、中山間地での営農活動維持体制づくりに貢献。

(東海地域 3名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
なかしま ひろたか 中島 博隆 (71歳)	岐阜県 下呂市	水稲専作経営 (法人)	1 県下第1号となる特定農業法人を設立。経営規模拡大を進めつつ、米の消費者への直接販売・地産地消、減農薬・減化学肥料栽培、スマート農業技術等に先駆けて取り組む。 2 農村景観の保全活動や獣害対策、土地改良事業、農業教育・都市農村交流にリーダーとして貢献。中山間地域において耕作放棄地ゼロを実現。また、地産地消を進め、地域振興にも貢献。
ぬのめ まさる 布目 勝 (65歳)	愛知県 名古屋市	水稲・野菜作 経営	1 水稲作業受託組織において農地集約による効率化や疎植栽培による低コスト化を提案・実現。湛水直播にも取り組む。また、スイートコーンの共販体制を強化し、ブランド力維持に貢献。 2 地域リーダーとして田んぼアートや体験学習に取り組む、環境について理解を深める活動を実施。また、名古屋市と協力し収穫体験農園を開設する等都市農地の維持・発展に貢献。
そまだ よしのぶ 柚田 良信 (62歳)	三重県 名張市	水稲・酒米・ 飼料用米作 経営	1 多用途の水稲による土地利用型農業。37歳で企業を退職し雇用就農を経て独立。減農薬栽培、酒米等を導入し新品種にもいち早く取り組む。妻も会社退職後、役割分担し主体的に参画。 2 農地最適化推進委員として中間管理機構を活用して受託を推進した他、耕畜連携にも早くから取組。夫婦ともに地域農業のリーダー的存在であり、地域農業のPR、後継者育成に貢献。
そまだ まゆみ 柚田 真由巳 (58歳)			

(近畿地域 6名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やまかわ よしかず 山川 伊一 (87歳)	滋賀県 高島市	水稲・野菜作 複合経営	<p>1 水稲単収は地域でも最高水準となる780kg/10aを達成しつつ、省力化等に取り組み先進的な農業経営を確立。水田露地野菜（キャベツ、カブ）の導入にいち早く取り組む。</p> <p>2 滋賀県稲作経営者会の設立や指導農業士として後進の育成に尽力。地域の数多くの要職に就き地域をまとめ、地域活性化の牽引役として特産品目の育成や観光資源の発掘等に貢献。</p>
そとだ まこと 外田 誠 (62歳)	京都府 南丹市	採卵鶏・肉用 鶏複合経営	<p>1 厳しい自然環境の中、味にこだわり採卵鶏を平飼いで飼育。いち早く京地どりに取り組み、安全な肉養鶏生産を徹底。飼料米生産、耕種農家への鶏糞供給等自然循環型農業を実践。</p> <p>2 京地どり生産に初期から取り組み、推進協議会副会長として生産安定、知名度向上と販売促進を進め、養鶏農家を取りまとめ。また、京地どりのリニューアルとブランドの発展にも尽力。</p>
にしかわ みつかず 西川 光一 (63歳)	大阪府 和泉市	施設トマト・ 施設軟弱野 菜・露地野菜 作経営	<p>1 トマト栽培にコマツナ等を導入して年間の安定した雇用を確保。都市近郊の養液土耕栽培で先駆的役割。土づくりや減農薬栽培の技術を確立。積極的な情報提供等販路確保にも工夫。</p> <p>2 和泉市農業後継者の会やエコ農産物出荷部会を立ち上げ、技術・経営面でグループを牽引。大阪府「農の匠」（指導農業士）として次世代の育成に尽力。食育等にも積極的に貢献。</p>
にしぎわ やすひろ 西沢 泰裕 (64歳)	兵庫県 豊岡市	レタス・トマ ト等野菜作経 営	<p>1 非結球レタスの周年出荷及び施設トマトの技術改良に尽力し、豊岡市野菜経営モデルを確立。野菜生産部会で「ひょうご安心ブランド」の認証取得を主導し、環境創造型農業を普及。</p> <p>2 台風被害から復興するため機械共同利用等の営農組合を設立。また、直売所を開設し高齢者等の活躍の場を提供。さらに、就農希望者等多様な研修生を受け入れ、後継者育成に尽力。</p>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やま した り え こ 山下理恵子 (64歳)	奈良県 河合町	ブドウ専作経営	1 地元と隣県の開拓パイロット農地で多様なブドウ品種を栽培し、消費動向にあった労働分散可能な大規模経営を実現。環境保全型農業、ウェブ活用による積極的な販促活動を実践。 2 農業委員として耕作放棄園を町と連携し栽培管理し、子供たちの農業体験にも利用。指導農業士会会長とし担い手育成に尽力。果樹研究会副部長として果樹農業の発展に貢献。
なか き こ いずみ 中浴 泉 (65歳)	和歌山県 紀の川市	モモ・キウイフルーツ作経営 (個人・法人)	1 モモ・キウイフルーツで根域制限等新栽培技術を実践。法人を設立し、高品質果実による付加価値の高い加工品製造売に取り組み、生果と加工を組み合わせて所得を向上。 2 規格外品購入により地域を支援。JAトレーニングファームのサポーターとして研修生受け入れ等を行い、新規就農者育成に実績。県農業士会連絡協議会副会長等として農業振興に貢献。

(中国四国地域 6名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
橋本 澄男 (72歳)	岡山県 新見市	施設トマト専 作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 トマトの養液土耕システムとマルハナバチ受粉の導入で省力化を図り、整枝や防除管理を充実させ、高収量と高品質安定生産を実現。有望品種を探索し、高冷地専作モデル経営を確立。 2 J A部会役員や理事を長年務め、省力栽培技術や有望品種を広めた他、選果場の機能強化等を推進。また、新規栽培者用の生産団地整備を進め、技術指導を行う等担い手確保に貢献。
松村 昭治 (80歳)	広島県 世羅町	ナシ・ブドウ 作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 法人を有志と設立し、機械化、省力化、労働環境改善、生産技術の向上等により、ナシの大規模経営を実現。直売交流施設を整備し、食育や農業体験の場提供にも尽力。 2 昭治氏は法人のリーダーとして生産技術向上等、県内の産地振興に尽力。世羅町果樹部会長等として展示圃や新規品目選定に貢献。明美氏は婦人部活動を通じて農業者の生活改善に尽力。
松村 明美 (77歳)			
福嶋 経男 (73歳)	山口県 山口市	肉用牛肥育経 営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 牛舎環境における快適性に着目し、静かな音楽を流し続ける等牛のストレスを軽減。さらに給与飼料の改善、夏期の暑熱対策等により肉質を改善し、共進会で安定して優秀な成績。 2 自らの肥育技術を基に関係機関や近隣農家へ助言を行うとともに、後代検定農家として県の種雄牛造成に多大なる貢献。視察会受入や農業大学校の卒業生の雇用等担い手育成に尽力。
脇坂 正行 (69歳)	徳島県 阿波市	施設ナス専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 促成ナス栽培において、パイプハウスから低コスト耐候性ハウスへ先導的に転換し、地域全体での省力化・生産安定化に貢献。単為結果品種をいち早く取り入れ地域全体の省力化を推進。 2 30年間、J Aナス部会長を務め部会員の栽培技術を指導。その間、J A合併があり品質の均質化等部会統一に尽力。さらに研修生受入れと技術指導、産直市の経営改善も推進。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
まえかわ 前川 (72歳)	香川県 三豊市	花き（鉢物） 専作経営 （法人）	<ol style="list-style-type: none"> 1 農薬、肥料、エネルギー等の環境負荷低減を実践し、MPS（花き産業総合認証プログラム）認証を取得。先進技術や施設を導入し、センサー等による「施設内環境の見える化」も実施。 2 県花き園芸協会会長等を歴任し、豊富な経験と全国的な幅広い視点から、生産者の経営改善、省エネや需要拡大等、県花き産業の様々な課題に対しリーダーとして多大な貢献。
のもと 野本 (72歳)	愛媛県 松山市	カンキツ専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 イヨカンについて、土づくり・摘果等により高品質・安定生産を実践するとともに、改植や省力化を実践。紅マドンナ等新品種導入を進め、ハウス栽培等による高所得を実現。 2 苗木の共同育苗や高品質・安定生産技術の実践・普及により産地発展に寄与。高級中晩柑の導入を進め、伊予柑＋優良中晩柑の営農を地域に定着。研修生受入れ等人材育成にも尽力。

(九州・沖縄地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
すみ 角 せい 樹 (72歳)	福岡県 筑後市	ブドウ・ナシ 作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 ブドウ及びナシの優良品種への転換を先駆的に行い、栽培技術を確立。ブドウの施設栽培・種なし栽培を地域に先駆けて導入し、販売単価の向上による安定経営を実現。 2 地元JAのナシ及びブドウ部会長として、部会や販売の再編統合を進め、物量の確保と安定販売を実現。県域のナシ部会長、ブドウ部会長も務め、県内果樹農業の振興に尽力。
いち 市 丸 はつ 初 美 (64歳)	佐賀県 伊万里市	ブロイラー・花苗複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 花苗栽培とブロイラー飼養に取り組み規模拡大しながら付加価値をつける経営に移行。安全安心なものを届けたい思いから直売所を開設。その後、法人設立し、家族全員での経営発展。 2 経営改善のためのパソコン簿記記帳会立ち上げや男女共同参画、グリーンツーリズムの推進、県農業士会副会長として農業後継者育成等、幅広い分野で活躍し、地域活性化に貢献。
この 許 み 斐 とも ひと 誠 仁 (80歳)	長崎県 壱岐市	施設アスパラガス専作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 島内随一のアスパラガス大規模経営。害虫対策に紫外線カットフィルムや黄色蛍光灯の導入等を進める等農薬削減・労力軽減を実現。エコファーマー取得やGAPにも主導的に取り組む。 2 雇用を活用した経営と研修生受入れにより新規就農者を確保。高単収実現によって地区生産者の経営拡大に寄与。JA副部会長等を務め、畜産農家の牛糞活用等リーダーシップを発揮。
なか 中 田 た 純 一 (75歳)	熊本県 宇城市	カンキツ専作経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 マルチ栽培による高糖度ミカン栽培を確立。いち早く甘夏から不知火、ミカンからレモンに転換。カンキツ栽培を傾斜地から平坦な水田へ移動し、その取り組みは県全体に波及。 2 純一氏は4Hクラブを設立し、生産技術の向上に貢献。康子氏は指導農業士として担い手育成に貢献、農業女性アドバイザー等も務め男女共同参画に尽力。
なか 中 田 た やす こ 康 子 (74歳)			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やま と けん いち 大和 建一 (75歳)	熊本県 阿蘇市	養豚一貫経営 (法人)	1 県内で先駆けてSPF豚を導入。SPF豚専用農場、浄化設備の整備等近代養豚経営を実現し、認定農場となる。さらに6次化に取り組み加工品の販売を開始。 2 建一氏は県養豚協会支部長時にSPF豚生産を進めるとともに、日本SPF豚協会代議委員時に全国普及を推進。とよ子氏は第1期県農業女性アドバイザー等を通じ女性の地位向上に貢献。
やま と こ 大和 とよ子 (71歳)			
さ とう しん いち 佐藤 進一 (67歳)	大分県 佐伯市	施設切花専作 経営	1 露地栽培が主流のホオズキに雨除け施設を導入し、出荷期拡大や品質向上により収益性を向上。系統選抜による優良種苗を確保。土壌診断に基づく施肥管理等栽培技術を向上。 2 ホオズキとスイートピーによる周年栽培体系を確立し、地域の産地形成に貢献。ホオズキの栽培技術を県内に普及し、ブランド化に貢献。就農希望者の研修受け入れ等担い手確保に貢献。
いわ た とく のり 岩田 篤徳 (72歳)	宮崎県 日之影町	和牛繁殖経営	1 過疎化が進む中山間地域において、放棄山林等を自ら造成、開拓しながら「放牧」による和牛繁殖経営に挑戦。放牧技術の確立に継続して取り組み、管理の省力化、低コスト化を実現。 2 地域の放牧生産者組織の会長を務め、新規就農者への支援等地域の放牧経営を牽引。耕作放棄地や放棄山林等を活用した放牧を普及し、景観保全や過疎集落の活性化に貢献。
とみ た よし あき 富田 良成 (72歳)	鹿児島県 南大隅町	施設花き専作 経営 (法人)	1 ロックウール栽培やアーチング仕立法等の先進技術により、バラの周年出荷を実現。ハウスの環境制御機器をいち早く導入し、単収・品質向上、労働時間短縮を実現。 2 地域の花き振興会やグリーンツーリズムに積極的に参画し、花き振興と地域の活性化に尽力。指導農業士や農業委員として、新規就農者の育成・確保と遊休農地の解消に貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
ひがみねお 比嘉 峯夫 (71歳)	沖縄県 今帰仁村	マンゴー専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> 1 加温方法の工夫により栽培環境等を大幅に改善し、マンゴーの高品質安定生産を確立。土着天敵と購入天敵の併用による栽培技術を確立する等、地域に先駆けて環境保全型農業を推進。 2 地域の産地協議会や研究会で中心的役割を果たし、マンゴーの産地拡大とブランド化等に貢献。指導農業士として多くの研修生を受け入れ技術指導を行い、担い手育成に貢献。

緑白綬有功章（国外） 1名

（北米・南加支会 1名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
フリーマン あきこ 聡子 (59歳)	Sebastopol, CA 95472 カリフォルニア州 米国	ブドウ作経営 (ワイン用、 法人)	1964年、東京都出身、1985年に渡米。2001年に夫とともにワイナリーを設立。当初は原料を購入していたが、2006年と07年に農地を購入しブドウを植栽。土の改良から始め、クローバー植栽のほか工夫を重ね、現在は有機栽培のブドウでワインを醸造している。 ワイナリー売り上げの一部を寄付、困窮者への食事提供等を継続的に実施している。

農業改良普及功労者

(一般社団法人 全国農業改良普及支援協会推薦)

緑白綬有功章 (国内) 4名

氏名	住所	表彰事由
やなぎやま ひろ ゆき 柳山 浩之 (68歳)	北海道 北広島市	メロンの広域産地形成や大根産地の病害対策等産地の維持発展に努め、専門技術員時にグリーン農業やタマネギの産地調整における望ましいすき込み方法等を普及。また、首席普及指導員として新任者の早期養成研修システムの構築等に貢献した。退職後は北海道農業普及学会会長として後進の指導に尽力するとともに、野菜類の技術指導に携わり、一般市民や新規就農予定者への農業技術指導も行うなど地域農業に貢献している。
おおしま せつ こ 大島 節子 (72歳)	山梨県 甲州市	女性農業者の活動促進や農産物の加工・6次産業化に取り組み、女性起業グループの育成、県産農産物を利用した加工品の開発・普及、6次産業化の発展、直売所の活性化、女性の経営参画等に尽力。また、自らの加工や起業の普及手法の資料化を進め、後輩に伝承。地元で地域住民とともに直売会活動を開始し、退職後もブドウ栽培とあわせ直売会活動をはじめ多くの地域活動に参画し地域活性化に貢献。さらに山梨県峡東地域の世界農業遺産の認定に当たり、学識経験者としても貢献。
やまもと よし たか 山本 良孝 (71歳)	富山県 高岡市	米の産地間競争が激化する中、コシヒカリの食味向上対策に取り組み、食味向上の指標と目標値を提示し、データに基づく技術指導を可能とした。専門技術員として迅速な指導体制の整備に努め、実肥の廃止等により県産コシヒカリが7年連続で食味ランク特Aに格付けされるなどの功績をあげ、水稻直播栽培の苗立ちの安定化にも尽力した。退職後も県米作対策改良本部の委員として技術対策の策定に助言するとともに、地元集落営農法人の技術顧問として活動をリードしている。
くろ き たかし 黒木 隆 (74歳)	熊本県 宇城市	農業者のライフステージに応じたきめ細かな担い手育成活動を実践し、青年農業者実態補完調査による実態把握や農業経営指標の策定、農業後継者育成基金の設立など、担い手育成の柱となる重要施策の企画・立案に参画、農業大学校では副校長として専修学校化に携わった。退職後、県新規就農支援センターの初代センター長として相談体制を整備したほか、これまでの活動の知見を集大成したマニュアルを作成、現在は県農業公社地域就農支援アドバイザーとして新規就農者支援に従事している。

農業技術開発功労者

(公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会推薦)

緑白綬有功章 (国内) 1名

氏 名 住 所 表 彰 事 由

しば た けん いち ろう
柴田 健 一 郎
(59歳)

神奈川県
平塚市

全国のナシ産地で早期成園化と省力・簡易化技術が望まれている中、主枝をつなげることにより仕立て法を単純化した「樹体ジョイント仕立て法」を開発。通常10年かかる成園化を5年に短縮、動線の単純化による剪定などの作業効率の大幅な向上を実現。農業新技術にも採択。さらに他の落葉果樹にも技術を展開し、リンゴ、カキ等は全国的に広がっている。

神奈川県農業技術センター
生産技術部長

平成28年度 (第72回) 農業技術功労者表彰受賞

本技術は、老木園などで改植による長期の収量減を回避し、担い手の規模拡大を可能にすることから、果樹産地育成に貢献。

名誉賞状 (グループ) (国内) 1団体

氏 名 住 所 表 彰 事 由

すいとうみつなえさいばい ぎじゅつ
水稻密苗栽培技術
かいほつ
開発グループ

石川県
野々市市

稲作の春作業期は最も過密繁忙であり、これが規模拡大の制限要因になっている。

密苗栽培は、育苗トレイに種子を高密度で播種し、苗マットを細かく掻き取ることでマット数を削減する手法。①高密度播種・育苗のソフト技術、②精密掻き取り・高精度移植するハード技術により革新的な省力化、低コスト化を実現した。

平成30年度 (第19回) 民間部門
農林水産研究開発功績者表彰
農林水産大臣賞受賞

平成27年から普及開始し、30年には栽培面積24千ha、令和4年は作付面積の7%弱と見込まれている。作付品種も50品種以上となっており、「みどりの食料システム戦略」技術カタログにも採用され、一層の普及が期待されている。

ぶつ た とし ひろ
佛 田 利 弘
(63歳)

はま だ えい じ
濱 田 栄 治
(55歳)

さわ もと かず のり
澤 本 和 徳
(56歳)

ど い く に お
土 井 邦 夫
(59歳)

い せ むら ひろ し
伊 勢 村 浩 司
(59歳)

本 会 功 労 者

紅白綬有功章（国内） 4名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
もろ おか よし のり 諸 岡 慶 昇 (79歳)	茨城県 つくば市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
かす み たか ふみ 春 見 隆 文 (76歳)	東京都 練馬区	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
しば た まさ き 柴 田 正 貴 (76歳)	茨城県 つくば市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
きの した よし とも 木 下 良 智 (71歳)	神奈川県 川崎市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

農事功労者経営類型別一覧（国内）

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
紫白綬		栃木県	那須町	今 耕一	酪農・チーズ製造経営（法人）	2
紫白綬		山梨県	甲府市	小澤 博	モモ・ブドウ作経営	3
緑白綬	農産	宮城県	東松島市	安部 俊郎	水稲・麦・大豆作経営（法人）	5
緑白綬	農産	秋田県	大仙市	工藤 修	水稲・大豆・野菜作経営（法人）	5
緑白綬	農産	埼玉県	行田市	新井 健一 新井 順子	水稲専作経営（法人）	8
緑白綬	農産	岐阜県	下呂市	中島 博隆	水稲専作経営（法人）	11
緑白綬	農産	愛知県	名古屋市	布目 勝	水稲・野菜作経営	11
緑白綬	農産	三重県	名張市	柚田 良信 柚田真由巳	水稲・酒米・飼料用米作経営	11
緑白綬	特産	岩手県	軽米町	中里 照夫	ホップ・水稲作経営	4
緑白綬	野菜	山形県	舟形町	長澤 光芳	施設マッシュルーム専作経営（法人）	6
緑白綬	野菜	群馬県	藤岡市	秋山 幸夫	施設トマト専作経営	7
緑白綬	野菜	東京都	八王子市	鈴木 俊雄	多品目野菜経営	8
緑白綬	野菜	山梨県	富士河口湖町	三浦 壽夫	施設トマト・露地野菜・水稲作経営	9
緑白綬	野菜	大阪府	和泉市	西川 光一	施設トマト・施設軟弱野菜・露地野菜作経営	12
緑白綬	野菜	兵庫県	豊岡市	西沢 泰裕	レタス・トマト等野菜作経営	12
緑白綬	野菜	岡山県	新見市	橋本 澄男	施設トマト専作経営	14
緑白綬	野菜	徳島県	阿波市	脇坂 正行	施設ナス専作経営	14
緑白綬	野菜	長崎県	壱岐市	許斐 誠仁	施設アスパラガス専作経営	16
緑白綬	果樹	福島県	福島市	宍戸 薫 宍戸 洋子	モモ・ナシ作経営	6
緑白綬	果樹	茨城県	笠間市	小澤 一男	クリ専作経営（法人）	7
緑白綬	果樹	千葉県	いすみ市	秋場 静	ニホンナシ専作経営	8
緑白綬	果樹	神奈川県	川崎市	五嵐 敏充	ナシ・ブドウ作経営	8
緑白綬	果樹	長野県	須坂市	小池 捷一	ブドウ専作経営	9
緑白綬	果樹	奈良県	河合町	山下理恵子	ブドウ専作経営	13
緑白綬	果樹	和歌山県	紀の川市	中浴 泉	モモ・キウイフルーツ作経営（個人・法人）	13
緑白綬	果樹	広島県	世羅町	松村 昭治 松村 明美	ナシ・ブドウ作経営（法人）	14

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
緑白綬	果樹	愛媛県	松山市	野本 貢	カンキツ専作経営	15
緑白綬	果樹	福岡県	筑後市	角 整樹	ブドウ・ナシ作経営	16
緑白綬	果樹	熊本県	宇城市	中田 純一 中田 康子	カンキツ専作経営	16
緑白綬	果樹	沖縄県	今帰仁村	比嘉 峯夫	マンゴー専作経営	18
緑白綬	花き	香川県	三豊市	前川 茂	花き(鉢物)専作経営(法人)	15
緑白綬	花き	大分県	佐伯市	佐藤 進一	施設切花専作経営	17
緑白綬	花き	鹿児島県	南大隅町	富田 良成	施設花き専作経営(法人)	17
緑白綬	畜産	北海道	別海町	齊藤 哲夫	酪農経営	4
緑白綬	畜産	秋田県	由利本荘市	柴田 輝男 柴田 誠子	酪農経営(法人)	5
緑白綬	畜産	栃木県	那須烏山市	興野 礼子 興野 一美	酪農経営	7
緑白綬	畜産	静岡県	富士宮市	桑原 康	養豚経営(法人)	9
緑白綬	畜産	新潟県	十日町市	高橋 勝美	和牛繁殖肥育一貫経営 (個人・法人)	10
緑白綬	畜産	石川県	中能登町	大塚 久樹	酪農・肉用牛肥育経営	10
緑白綬	畜産	京都府	南丹市	外田 誠	採卵鶏・肉用鶏複合経営	12
緑白綬	畜産	山口県	山口市	福嶋 経男	肉用牛肥育経営(法人)	14
緑白綬	畜産	熊本県	阿蘇市	大和 建一 大和とよ子	養豚一貫経営(法人)	17
緑白綬	畜産	宮崎県	日之影町	岩田 篤徳	和牛繁殖経営	17
緑白綬	複合	北海道	由仁町	横井 弘一	稲作・畑作・花き・肉用牛複 合経営(法人)	4
緑白綬	複合	青森県	弘前市	斎藤 靖彦	施設トマト・リンゴ作・農産 加工複合経営(法人)	4
緑白綬	複合	岩手県	雫石町	松原 久美 松原たみえ	酪農・水稻・加工販売複合経 営(法人)	5
緑白綬	複合	山形県	南陽市	高橋 善一	水稻・果樹作複合経営	6
緑白綬	複合	栃木県	小山市	五十畑 茂 五十畑啓子	養蚕・露地野菜作複合経営	7
緑白綬	複合	新潟県	新潟市	金内 與夫	水稻・切り花・にんにく複合 経営	10
緑白綬	複合	福井県	越前町	武藤 吉明	水稻作・飼料作・農産加工販 売複合経営(個人・法人)	10
緑白綬	複合	滋賀県	高島市	山川 伊一	水稻・野菜作複合経営	12
緑白綬	複合	佐賀県	伊万里市	市丸 初美	プロイラー・花苗複合経営 (法人)	16

公益社団法人 大日本農会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1

日土地内幸町ビル2階

電話 03-3584-6739

FAX 03-3528-8140